



刑務所での神父の役割

先日、刑務所で牧師をしているというドイツ人女性

Uさん(60代)と知り合いました。

牧師になったばかりのころは教会で礼拝をしていましたが、その後10年ほど学校に勤めて宗教の授業を担当。2009年に今の刑務所に移りました。

ドイツの刑務所では宗教の自由が認められており、キリスト教だけでなくイスラム教や仏教、ユダヤ教など希望すれば宗教関係者との面談が許されています。ドイツではキリスト教徒が多いため牧師が刑務所にいるのが一般的なのだそうです。

仕事内容について聞くと「受刑者の話を聞きます」とのこと。「いろいろアドバイスするのですか」「しません」「相談にのったり、悩みを解決したりしないのですか」「しません」…では、いったい何をしているのでしょうか。

「精神的に参っている人には心理カウンセラーがいます。今後の生活をどう立て直すかを一緒に考えるのはソーシャルワーカーです。私はそのどちらでもない。私には守秘義務があります」とUさんは言いました。

カウンセラーやソーシャルワーカーは、受刑者との話の内容を記録をします。けれどUさんは記録をつけません。つけてはいけません。Uさんに話すことは2人の秘密であり、裁判で証拠として提出するよう求められても断る権利があります。いえ、断らなければならぬのです。そうしなければキリスト教の精神に背くこととなります。

一方、カウンセラーやソーシャルワ

ーカーは証拠の提出を拒否することができません。

ドイツに死刑はありません。けれど自由を拘束される禁固刑はあり、殺人罪を犯した人には終身刑が科されることがあります。終身刑ばかりの刑務所はしんとしているとか。一生外に出ることができないから、新米をいじめるエネルギーもなく、通常の刑務所とはまったく違う雰囲気なのだそうです。

面談を望む受刑者たちはUさんとの時間を心待ちにしています。1回1時間程度ですが、その時間はUさんと一緒にコーヒーをのみ、タバコを喫い、自由に話ができます。

受刑者は1日1時間しか自室の外に出ることができないので、労働は気分転換になります。しかし残念ながら仕事が十分になく、受刑者は部屋でじっとしている時間が長いそうです。

受刑者にとって部屋から出るというのは、とても重要な意味を持ちます。私たちがこうして自由に外に出たり、太陽をみたり、風に当たるといことが彼らはできません。だから面談室に行く道のりを、わざと遠回りすることは彼らにとって大きな喜びとなり、5分間刑務所内を長く歩くことができるだけで「ありがとう、本当にありがとう」とお礼を言われるとUさんはいいます。

ドイツでも恩赦があり、社会的にも精神的にも安定していると予定より早く出所できます。仕事があること、受け入れてくれる家族がいることが条件です。仕事があり、家族と良好な関係

が築かれていれば再犯を防ぎやすいでしょう。

だから印象をよくするため、会いに来てくれた家族とわざと仲良く振る舞うことがあるそうです。けれどUさんには取り繕う必要がなく、家族との不和を打ち明けてもどこにももれません。そう考えると、Uさんの立場は不思議なものです。「ときどきうっぷんの吐け口にされることもあるけど、気にしないことにしている。仕事だから」とUさんは達観しています。

「『出所したら〇〇を殺してやる』という人がいたらどうするの」と聞くと、「私もその人も人間です。だから会話をします」と。どうしてそういうことを考えるのか「よく聞く」のだと。そして自分の意見を述べ、理解するようにします。

ああ、その通りだと思いました。「殺してやる」と言ったからといって、それがすべてではない。その瞬間はそう思っているかもしれないけれど、それを翻意させることはできる。人間同士のやりとりにはそういう力があるのです。

「Uさんはみんなのオアシスだね」と言ったら、一瞬きよとんした後「そうかも」と笑顔になりました。Uさんはユーモアがあって包容力があり、普通につきあっていてもとても楽しい人。そういう人が刑務所にいて、受刑者の過酷な現在と過去を見聞きしつつ、静かににこにこしている。生きるのが困難な人が生きやすくする手助けをするのが宗教であるならば、Uさんはまさに実践者。なんだか不思議で、また会いたくなる人でした。

ごみかんドイツ特派員 田口 理穂

AKIRA

成長記録

7月初めに高校3年生の授業が終わり、夏休みに入りました。明は夏休み明けに高校4年生になり、来夏卒業です。明は夏休みに入ってから毎日午前様!

16歳からビールやワインが飲めるドイツでは、高校生になると酔いつぶれるまで飲んだりします。酔っぱらっても

何かあれば親が面倒を見てくれるから、自宅にいうちに自分の限界を知るといいという論理です。田舎に住んでいる友だちは、高校生の息子が週末友人宅でパーティをするので、近所の人と交代で真夜中に車で迎えに行くのだとか。若いうちからそんなに飲んで、脳みそに影響が

ないのかちょっと心配。明は「ぼくはそんなに飲んでないから大丈夫」というけれど、どこまで信じていいのか…。